

## 荻本孝久／論文リスト

### ■2013年度

#### <研究論文 I>

M. Navarro, A. García-Jerez, F. J. Alcalá, F. Vidal and T. Enomoto, “Local site effect microzonation of Lorca town (SE Spain)”, Bulletin of Earthquake Engineering, Vol. 11, No. 4, pp. August, 2013

#### <口頭発表>

荻本孝久、山本俊雄、箕輪拓実、「常時微動測定に基づく在来木造建物の振動特性に関する研究」、2012年度地域安全学会秋季研究発表会概要集、pp. 41-44、2012年11月

山本俊雄、荻本孝久、松田磐余、「2011年東北地方太平洋沖地震の液状化調査結果を踏まえた発生箇所の分析」、2012年度地域安全学会秋季研究発表会概要集、pp. 45-46、2012年11月

渡部英樹、山本俊雄、荻本孝久、「神奈川県における地震防災カルテの作成に関する研究」、2012年度地域安全学会秋季研究発表会概要集、pp. 63-66、2012年11月

荻本孝久、山本俊雄、浜口拓士、「神奈川県沿岸部における津波発生時の避難所の配置に関する研究」、2013年度地域安全学会春季研究発表会概要集、pp. 43-46、2013年6月

渡部英樹、山本俊雄、荻本孝久、「神奈川県における地震防災カルテの作成に関する研究—その2. 川崎市および横浜市を対象として—」、2013年度地域安全学会春季研究発表会概要集、pp. 47-50、2013年6月

柳澤雅人、藤堂博明、荻本孝久、「ボーリングデータベースによる電子地盤図の作成に関する研究—川崎市における首都高速道路・横浜羽田線に沿う沖積層の地盤モデルを例として—」、地盤工学会研究発表会概要集、pp. 177-178、2013年7月

犬伏徹志、伊藤真二、山下忠道、白山敦子、荻本孝久、宮本裕司、「地震観測記録に基づく有効入力動の評価 その3 神奈川大学免震構造建物のFEMシミュレーションによる評価」、日本建築学会学術講演会（北海道）梗概集、pp. 35-36、2013年8月

落合 努、荻本孝久、山本俊雄、「ボーリングデータベースによる電子地盤図の作成に関する研究—川崎市における2次元地盤モデルを例として—」、日本建築学会学術講演会（北海道）梗概集、pp. 1131-1132、2013年8月

荻本孝久、栗山利男、山本俊雄、「藤沢市における高密度微動観測に基づく地盤震動特性の評価に関する研究」、日本建築学会学術講演会（北海道）梗概集、pp. 219-220、2013年8月

平澤和裕、荻本孝久、山本俊雄、「遺伝的アルゴリズムによる地盤構造の同定に関する研究」、日本建築学会学術講演会（北海道）梗概集、pp. 233-234、2013年8月